

企業理念の実践

102-16, 103-1, 103-2, 103-3

「花王ウェイ」は、花王の企業活動の拠りどころとなる、企業理念です。

中長期にわたる事業計画の策定から、日々のビジネスにおける一つひとつの判断に至るまで、「花王ウェイ」を基本とすることで、グループの活動は一貫したものとなります。また一人ひとりの社員にとっては、会社の発展と個人の成長を重ね合わせ、仕事の働きがい、いきがいを得る上で欠かすことのできない、指針でもあります。花王の社員は、「花王ウェイ」をマニュアルや規則としてではなく、それぞれの仕事の意義や課題を確認するための拠りどころとして共有しています。2021年7月に、2004年の花王ウェイ策定以降初めて、その内容が大きく進化しました。

社会的課題と花王が提供する価値

認識している社会的課題

環境問題は日々深刻さを増しています。花王は日用品や化成品の提供を通じて人々の暮らしを良くすることに貢献してきましたが、一方で、モノの生産には多くの物質とエネルギーが必要であり、モノを生産・流通・販売・消費する過程で多くの廃棄物も発生します。私たちは、消費を前提としたモノづくりから、資源を循環させるモノづくりへシフトする必要性に迫られています。

また、花王がその使命として掲げる豊かな世界を実現するためには、環境問題以外にも、貧困や人権などの社会的課題の解決を考えていかなければなりません。

「2030年までに達成したい姿」の実現に関わるリスク

花王は、2030年までにグローバルで存在価値ある企業になるという目標を掲げています。

この目標はとても高いものであり、世界中に存在する多様性ある花王の社員全員が同じ理念を共有し、信頼感をベースに一つのチームとなって取り組まなければ、

達成は不可能です。すなわち、花王ウェイというすべての社員の共通言語の浸透なくして目標の達成は極めて難しいと言えます。

「2030年のありたい姿」の実現に関わる機会

さまざまな社会的課題が広く認識されるようになり、企業にも、経済活動だけではなく、社会を構成する一員としての責任ある貢献が求められています。2030年の目標であるグローバルで存在価値ある企業になるためには、この点を実践できることが必須となります。

花王ウェイには、私たちがどのように社会の中のよき構成員としてあるべきかを示している側面もあります。したがって、社会が企業に対してよき社会の一員としての人格を求める傾向は、世界中の社員の間で花王ウェイが共有されている花王にとっては好機であると考えられます。

花王が提供する価値

花王は、創業以来一貫して、社会や人々の暮らしをよりよくするために力を尽くすことを志してきました。

言い換えれば、花王は常にその時代に存在した社会的課題の解決に取り組んできたということになります。この精神は、花王ウェイにも色濃く現れています。

花王の商品は世界中の多くの方にお使いいただいています。商品や企業活動を通じて、環境問題をはじめとしたさまざまなESGの課題を解決すること。これが、花王が提供する価値です。

企業理念の実践 102-16

方針

花王ウェイは、社員がその内容を認知するだけでなく、日々の業務の中で一人ひとりがこれに基づいた行動をとることができるようになることが重要です。

2021年には花王ウェイが策定されて以来初めて、その内容が大きく進化しました。花王ウェイのコアとなる部分はずえずに、社会環境の変化に伴い、「共生」「ダイバーシティ&インクルージョン」「挑戦」の3つのテーマが強調されています。2030年までに達成したい姿を実現するためには、進化した花王ウェイが花王グループ全体に浸透することが重要です。

教育と浸透

花王では、花王ウェイが2004年に策定されて以来、花王ウェイの浸透活動を継続して行なってきました。

すべての社員を対象に、その内容を理解し、共感し、行動に反映することを目的として、主に対話を中心とする教育プログラムを実施してきました。特に、社員の継続勤務年数が短い日本以外のグループ会社の多くでは、一体感を醸成することを目的に常に花王ウェイの教育が行なわれています。

2021年に花王ウェイが進化したことから、改めてグ

ローバルで花王ウェイの教育プログラムの実施を強化するよう、本社から働きかけています。

本社の花王ウェイ推進チームは標準的な教育プログラム案やコミュニケーションツール(文書、動画など)を提供しています。ただし、各現場(グループ会社、部門)によって花王ウェイの浸透度や組織の課題が異なるため、各グループ会社や各部門の花王ウェイ教育担当者が彼らの現場での教育プログラムの開発・実施を主導しています。

体制

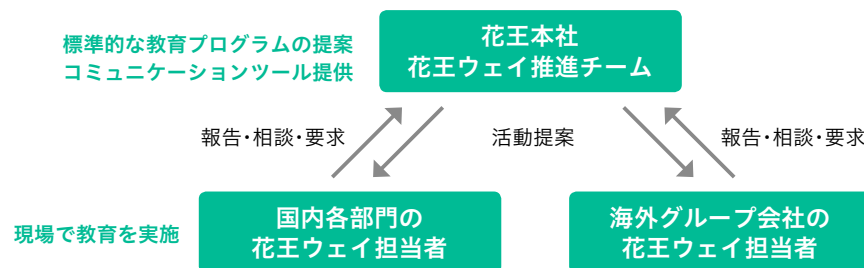
コーポレート戦略部門の中に、花王ウェイ推進チームが存在しています。このチームは、右記の機能を持ち、グローバルの花王ウェイ浸透活動の推進をしています。

- ・花王ウェイ浸透活動の方針決定
- ・標準的な教育プログラムの提案
- ・コミュニケーションツールの提供
- ・経営幹部への花王ウェイの浸透活動の進捗・成果の報告
- ・花王ウェイの管理

各グループ会社や各部門での花王ウェイ教育活動は、現場の花王ウェイ担当者が担当しています。花王ウェイ担当者は、花王ウェイ推進チームからの情報をもとに、各グループ会社や各部門の組織の状況や課題に合った教育プログラムを開発、実施します。

花王ウェイ推進チームは花王ウェイ担当者たちと緊密に連絡を取り合い、現場の活動の報告や相談を受け、現場の花王ウェイ担当者の活動をサポートしています。

なお、2021年の花王ウェイの進化に際しては、その内容について取締役会で議論・承認されました。



企業理念の実践

102-16

中長期目標と実績

2025年中期目標

進化した花王ウェイに関する教育プログラムを、すべてのグループ会社、すべての部門で実施する。

中長期目標を達成することにより期待できること

事業インパクト

花王ウェイの浸透度が高まるほど、社員一人ひとりが主体的に戦略に沿った行動を起こすことが期待できるため、K25の数値目標の達成も実現性が高まると考えています。

社会的インパクト

花王ウェイは花王のすべての事業活動の拠りどころです。したがって、花王ウェイの教育が進むほど、花王が取り組もうとしている社会的課題の解決が進展すると考えています。

2021年の実績

実績

- ・社長から全社員に向けて花王ウェイの進化と背景を発表
- ・在籍している社員を対象にレクチャー、動画での教育プログラムを実施:43組織/44組織中
- ・在籍している社員を対象に対話形式の教育プログラムを実施:6組織/44組織中
- ・新たに入社した社員向けに花王ウェイに関する教育を実施:42組織/44組織中

2021年は、7月に進化した花王ウェイがアナウンスされたこともあり、レクチャーや動画などによる教育プログラムが活発に実施されました。

企業理念の実践 102-16, 404-2

具体的な取り組み

目標達成に向けて

進化した花王ウェイの発表

2021年7月に、社長から全社員に向けて進化した花王ウェイを発表しました。

花王ウェイはこれまでの経営者や社員の思いを集積したものであることや、これからは共生と挑戦が重要なキーワードであることが社員に伝えられました。



Mid-year CEO Address 2021



進化した花王ウェイの教育プログラムがスタート

感染症の影響でリアルな会議が開催できない中、海外のグループ会社ではオンラインの利点を活用した教育プログラムがスタートしました。

各会社の幹部向けに、進化した花王ウェイに関するレクチャーが実施されました。スピーカーは、花王ウェイを進化させるプロジェクトを率いていたディブ・マンツ。参加者からは、活発な質疑も行なわれました。



欧米のグループ会社が合同でオンラインの花王ウェイキックオフイベントを開催しました。花王ウェイを進化させるプロジェクトに参加した社員からは、大勢の社員の意見を反映させたことも伝えられ、参加した社員の共感を呼んでいました。

